

**三木市手話施策事業実施報告書
(令和7年度)
詳細説明**

令和7年10月17日(金)
三木市立教育センター
3階 大研修室
10:00～

三木市共に生きる手話言語条例

条例のねらい

●基本理念●

ろう者が自立した日常生活を営み、全ての市民と相互に人格と個性を尊重しあいながら、心豊かに共生することができる地域社会の実現を目指し、手話を使用しやすい環境を構築するものとします。

●市の責務●

市は、基本理念に基づき、施策を実施します。

●市民の責務●

手話及び聴覚障害に対する理解を深めるとともに、市が実施する施策に協力するよう努めます。

●事業者の責務●

手話を必要とする者が利用しやすいサービスを提供し、手話を必要とする者が働きやすい環境を整備するよう努めます。

Ⅰ 施策の推進方針の目的

地域に手話を普及し、聴覚障害に対する理解を広げることで、全ての市民の人格と個性が尊重され、自分らしく豊かに暮らすことのできるまちを実現するため、具体的な方策を講じることを目的とする。

Ⅱ 具体的な推進方策

	推進方策	推進方針	計画
(1)	手話及び聴覚障害に対する 理解の促進 を図るための施策	ア 手話が言語として認知され、聴覚障害についての市民の理解が深まるよう、市の広報紙やパンフレット等により啓発を行う。	①②③ P7～ P12
	(手話条例第3条第1項第1号)	イ 市民が手話に親しむことができるよう、手話に関する講座や講習会等を開催し、手話に対する認知度を高める。	④⑤⑥ ⑦ P13～ P24
(2)	市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策	ア 市の行事等に積極的に手話通訳者等を派遣する。	⑧ P25
	(手話条例第3条第1項第2号)	イ 市役所等で手話が使いやすい環境づくりを進めるため、市職員に対する手話に関する講習会を実施する。	⑨⑩⑪ P26～ P28

	推進方策	推進方針	計画
(2)	市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策	ウ 小学校、中学校、特別支援学校において、子どもたちが手話と親しみ、学ぶ活動の実施及び教職員に対する手話に関する研修の機会を提供する。	⑫⑬ P29～ P30
	(手話条例第3条第1項第2号)	エ 市内の事業所等において、手話に関する理解が深まるよう、チラシの配布や事業所等が行う手話講習会等の開催を推進し、支援する。	⑭ P30
(3)	手話通訳者の配置の拡充及び処遇改善など手話による意思疎通支援者のための施策	ア 手話通訳者及び要約筆記者等を育成する。	⑮⑯⑰ ⑱⑲⑳ ㉑ P31～ P38
	(手話条例第3条第1項第3号)	イ 手話の技術並びに聴覚障害に対する理解を広げるための指導者を育成する。	㉒㉓㉔ P39
(4)	市長が必要と認める施策	その他	㉕㉖㉗ ㉘㉙ P40～ P42

三木市手話施策推進会議において、各施策の実施状況を検証し、必要に応じて見直しを行う。

目次

(1) 手話及び聴覚障害に対する理解の促進を図るための施策

ア 手話が言語として認知され、聴覚障害についての市民の理解が深まるよう、市の広報紙やパンフレット等により啓発を行う。

- ①広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
- ②ユニバーサル動画の配信・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
- ③手話啓発に関するポスターを募集・・・・・・・・・・ P11
- イ 市民が手話に親しむことができるよう、手話に関する講座や講習会等を開催し、手話に対する認知度を高める。
- ④手話まつりを開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
- ⑤ブルーライトアップにて啓発・・・・・・・・・・・・ P22
- ⑥絵本の読みかたり『手話でみんなのおはなし会』開催・・・・ P23
- ⑦市民向け手話啓発講座の実施・・・・・・・・・・・・ P24

(2) 市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策

ア 市の行事等に手話通訳者を派遣

- ⑧市が主催する行事等に手話通訳者を派遣・・・・・・・・ P25
- イ 市役所等で、手話が使いやすい環境づくりを進めるため、市職員に対する手話に関する講習会を実施する
- ⑨消防署員向け手話研修会を実施・・・・・・・・・・・・ P26
- ⑩市職員向けに啓発講座等を実施する・・・・・・・・・・ P27
- ⑪市職員が手話検定取得を目指す・・・・・・・・・・ P27
- ウ 小学校・中学校・特別支援学校において、子供たちが手話と親しみ、学ぶ活動の実施及び教職員に対する手話に関する研修の機会を提供する
- ⑫小学校・中学校・特別支援学校の児童及び生徒に対し手話学習を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P29
- ⑬小学校・中学校・特別支援学校の教職員に対し研修会を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P30
- ⑭事業所に対し手話啓発講座を実施・・・・・・・・・・・・ P30

目次

(3) 手話通訳者の配置の拡充及び処遇改善など手話による意思疎通支援者のための施策

ア 手話通訳者及び要約筆記者等を育成する

- ⑮設置手話通訳者の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・P31
- ⑯登録手話通訳者・要約筆記者の登録数を増やす・・・・・・P32
- ⑰手話奉仕員養成講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・P32
- ⑱手話奉仕員養成講座の講師養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・P32
- ⑲手話通訳者養成講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・P33
- ⑳要約筆記者養成講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・P37
- ㉑登録手話通訳者の知識・技術の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・P38

イ 手話の技術並びに聴覚障害に対する理解を広げるための指導者を育成

- ㉒絵本の読みかたり実施者を支援・育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・P39
- ㉓啓発講座等の指導者を育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・P39
- ㉔啓発講座等の指導者研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・P39

(4) その他

- ㉕手話で本を楽しむ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P40
- ㉖遠隔手話通訳サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・P40
- ㉗NET119登録説明会・・・・・・・・・・・・・・・・・・P41
- ㉘「市政一直線」の動画を手話と字幕で放送・・・・・・・・・・P41
- ㉙デフリンピックキャラバンイベント開催・・・・・・・・・・P42

(1) 手話及び聴覚障害に対する理解の促進を図るための施策

(手話条例第3条第1項第1号)

- ア 手話が言語として認知され、聴覚障害についての市民の理解が深まるよう、市の広報紙やパンフレット等により啓発を行う

①広報活動

<令和7年度の実施状況>

○手話奉仕員養成講座、手話まつりやブルーライトアップなどの講座・イベント情報を広報やSNS等を使用しPRした。

○神戸電鉄三木駅のデジタルサイネージにて『手話言語の国際デー』『手話まつり』や『三木市しゅわちゃんねる』の情報を掲示。

○9月16日(火)～26日(金)には、庁内放送にて三木市共に生きる手話言語条例やイベント、ブルーライトアップについて呼びかけを行った。

②ユニバーサル動画の配信

＜令和7年度の実施状況＞

- ・昨年度に引き続き、令和7年度も各課に声をかけそれぞれ知ってもらいたい内容を動画にし、配信を行っている。

（P11参照）

- ・担当課の職員に手話で自己紹介を行ってもらい直接説明してもらうことで市民に身近に感じてもらい、内容も伝わりやすさを工夫した。

- ・市民課前とみっきいホール前のテレビにて動画を流し来庁者に見ていただき啓発を行った。

※『三木市しゅわちゃんねる』の動画作成について令和7年度も、所管課に原稿を依頼し、打ち合わせ・撮影は、手話サークル「みき」に委託、障がい福祉課が編集を行い、共同で作成している。

ユニバーサル動画『三木市しゅわちゃんねる』とは？

これまで

市政情報の発信は広報紙やチラシなど活字によるものがほとんど



※聴覚に障がいがある方には活字での情報を認識することが難しい場合があります。特に、手話で日常のコミュニケーションをされている方には、手話で伝達した方がわかりやすいです。



これから

これまでの方法に加えて、
字幕のついた手話動画でわかりやすく情報を把握



令和7年度ユニバーサル動画内容

	テーマ	関係課	配信日時
1	三木市歌について	企画政策課	2025年 7月31日
2	2025大阪・関西万博へ 行こう！ ～三木市の日～	縁結び課	2025年 8月8日
3	水道の節水にご協力く ださい	水道工務課	2025年 8月15日
4	三木市の美術館へ遊び に行こう！	文化・スポー ツ課	2025年 9月24日
5	道の駅よかわ（仮）	観光振興課 道の駅よかわ	
6	マイナ保険証（仮）	保険年金課	
7	じぶんノート（仮）	生活安全課	
8	手話言語条例制定10周 年（仮）	障がい福祉課	
9	モバイルバッテリーの 処理方法（仮）	環境課	
10	町ぐるみ健診（仮）	健康増進課	

③手話啓発に関するポスターを募集

<令和7年度の実施状況>

- ・啓発講座・サマースクール等で呼びかけた。
- ・ポスター募集の案内（※下記は小学生用）に『三木市しゅわちゃんねる』の二次元コードを付け教職員向け啓発講座にて配布した。

申込者：低学年1名 高学年13名 中学生6名

み き し と も い き る しゅわげんごじょうれい 三木市共に生きる手話言語条例

けいはつ ぼしゅう しょうがくせい
啓発ポスター募集（小学生のみなさまへ）

テーマ 『手話や耳が聞こえないことについて
みんなに知ってもらえるように自由に描いてみよう』

かみ 紙の大きさ ぎょうし 画用紙4つ切り

がざい 画材 じゅう 自由

おうぼほうほう 応募方法 おうぼようし べっし きにゆう き と さくひん うら は
応募用紙（別紙）に記入し切り取って作品の裏に貼

がっこう 学校で決められた日に提出してください。

※おうぼ 応募いただいた作品は原則としてへんきゃく 返却いたしません。

と あ さい き し けんこう ふく し ぶしょうがい ふく し か たんどう いながき
問い合わせ先：三木市健康福祉部障害福祉課（担当：稲垣）

TEL（代表）82-2000 FAX 89-2449

さくねんどさくひん
昨年度作品



三木市公式YouTube チャンネル

『三木市しゅわちゃんねる』



※二次元バーコード

- イ 市民が手話に親しむことができるよう、手話に関する講座や講習会等を開催し、手話に対する認知度を高める。

④手話まつりを開催

<令和7年度の実施状況>

日 時：令和7年8月24日（日）

午前の部 10時00分～12時00分

午後の部 13時30分～15時30分

場 所：三木市市民活動センター3階 大会議室

内 容：午前の部 手話体験・要約筆記体験・難聴体験
寸劇「聞こえない人あるある」
太鼓演奏

午後の部 講演

「手話って面白い！

～ゼロから始める日本手話の世界～」

講師 前川和美氏

関西学院大学 手話言語研究センター
特別任期助教

参加者：午前の部 77名 午後の部 75名

手話まつりの様子



令和7年度手話まつり アンケート（午前の部）

参加人数 78名 回答数 31名

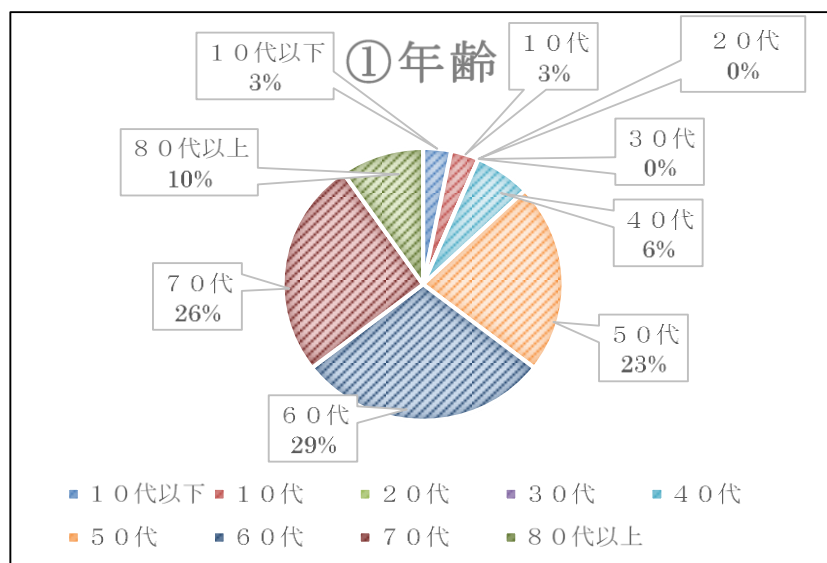
内訳：手話サークル「みき」	25名
三木ろうあ協会	3名
要約筆記サークル「ダンボ」	4名
一般	45名

一般地域別内訳

三木市 26名	加古川市 2名
神戸市 11名	稲美町 1名
加東市 1名	議員 1名
加西市 1名	
相生市 2名	

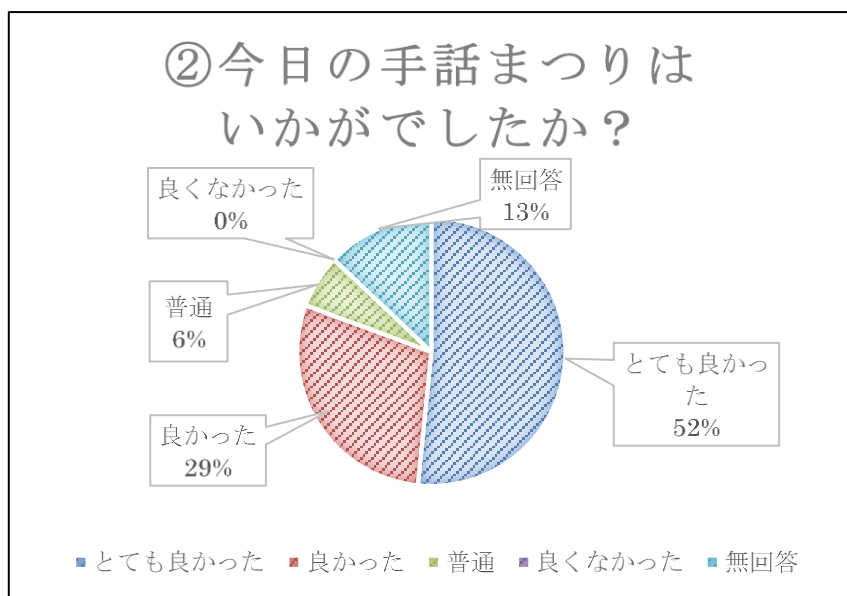
①年齢は？（○で囲ってください）

10代以下【1名】 10代【1名】 20代【0名】 30代【0名】
 40代【2名】 50代【7名】 60代【9名】 70代【8名】
 80代以上【3名】



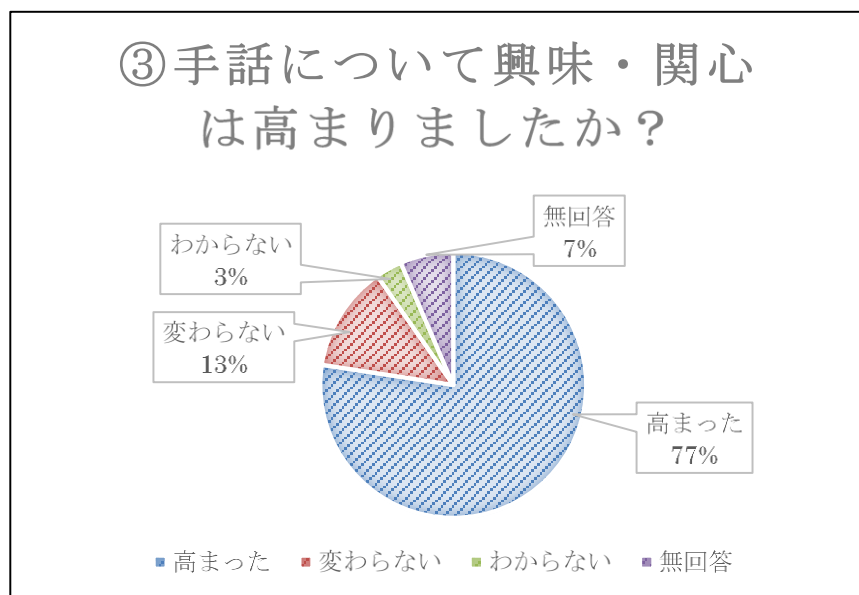
②今日の手話まつりはいかがでしたか？

とても良かった【16名】 良かった【9名】 普通【2名】
良くなかった【0名】



③手話について興味・関心は高まりましたか？

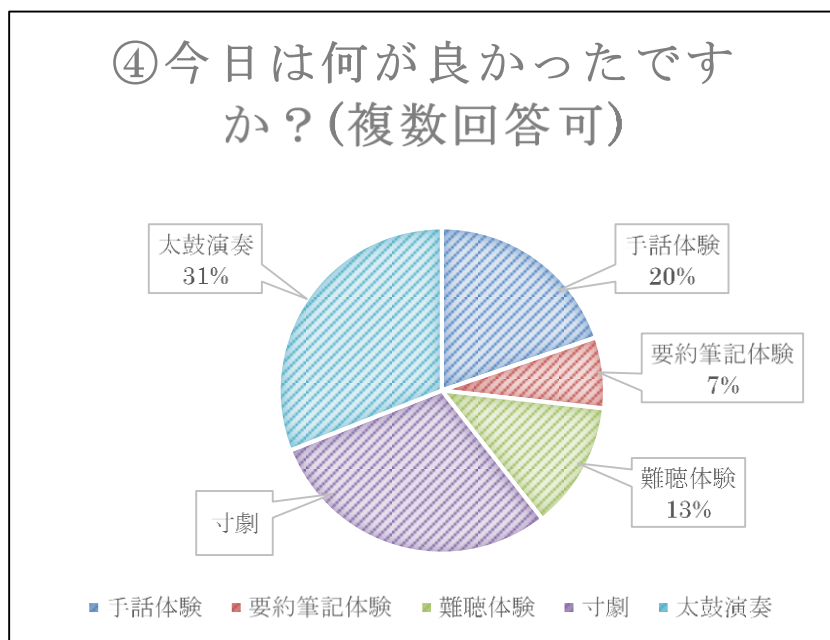
高まった【24名】 変わらない【4名】 わからない【1名】



④今日は何が良かったですか？(複数回答可)

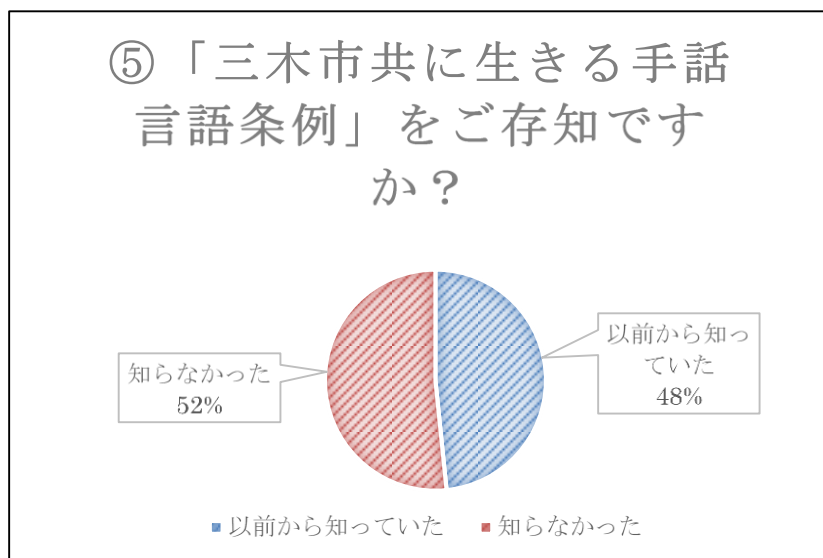
手話体験【14名】 要約筆記体験【5名】 難聴体験【9名】

寸劇【21名】 太鼓演奏【22名】



⑤「三木市共に生きる手話言語条例」をご存知ですか？

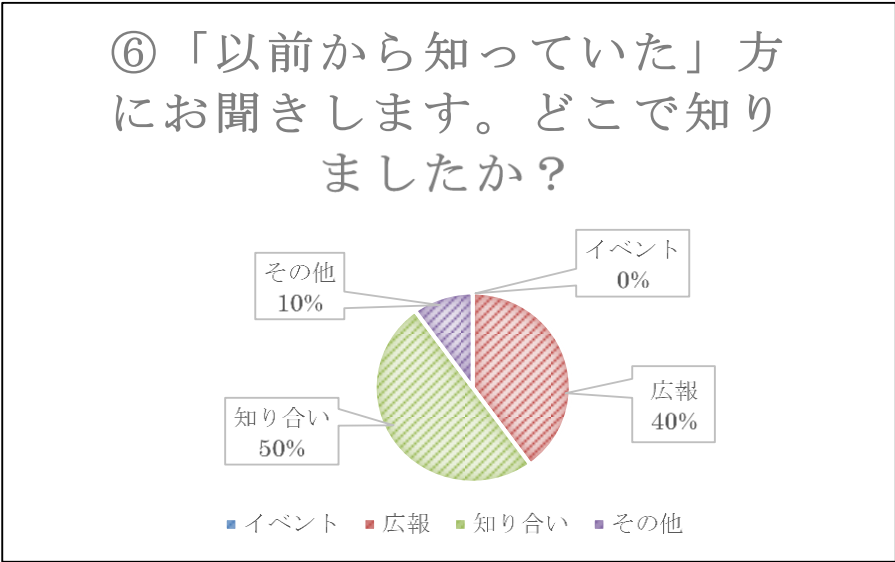
以前から知っていた【15名】 知らなかった【16名】



⑥「以前から知っていた」方にお聞きします。どこで知りましたか？

イベント【0名】 広報【8名】 知り合い【10名】

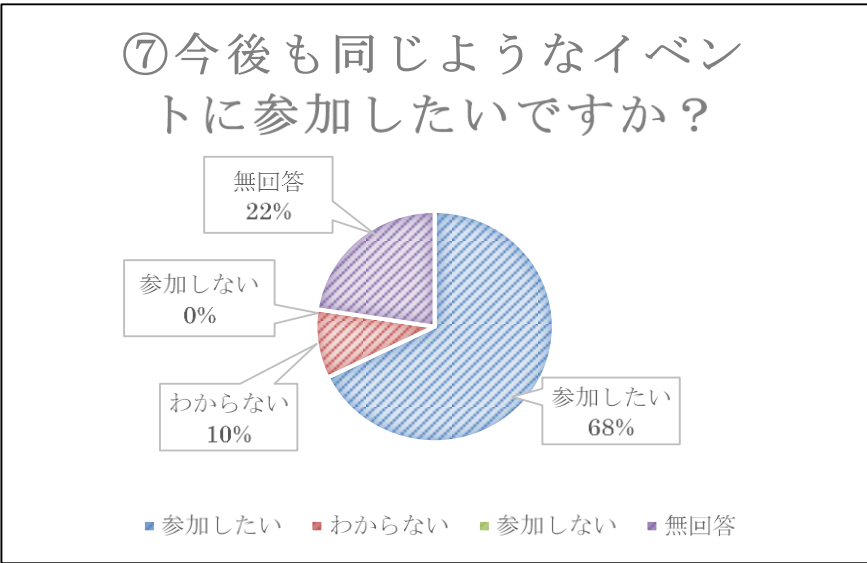
その他（手話サークル、仕事柄）【2名】



⑦今後も同じようなイベントに参加したいですか？

参加したい【21名】 わからない【3名】

参加しない【0名】 無回答【7名】



- ⑧ ご感想・ご意見・ご要望ございましたらお聞かせください
- ・ 寸劇が分かりやすかった。難聴体験が実生活に結びつく実感があった。
 - ・ 劇、わかりやすく良かったです。太鼓、素晴らしいですね。
 - ・ 皆さんに親切に指導していただきました。ありがとうございました。寸劇で実際の解決方法を示していただいたので分かりやすかったです。
 - ・ 太鼓演奏にはとても心打たれました。
 - ・ 初めて参加して勉強になりました。
 - ・ 準備等大変だったと思います。聞こえない人々の気持ちが少し理解することができました。また、手話の大切さがわかりました。参加して良かったです。
 - ・ たのしかったです。
 - ・ 同じ講座で頑張っていた仲間のステージが見れて刺激をもらいました。
 - ・ 初めての体験でしたが、とても楽しかったです。
 - ・ 手話同士でおしゃべりしているのを見てみると、お互いとても楽しそうで、自分はできないけど見てるだけで気持ちがよくなりました。
 - ・ 和太鼓がおもしろかった。劇もわかりやすかった。
 - ・ 皆さんの温かい雰囲気がとても良かったです。

令和7年度 手話まつり 講演 アンケート(午後の部)

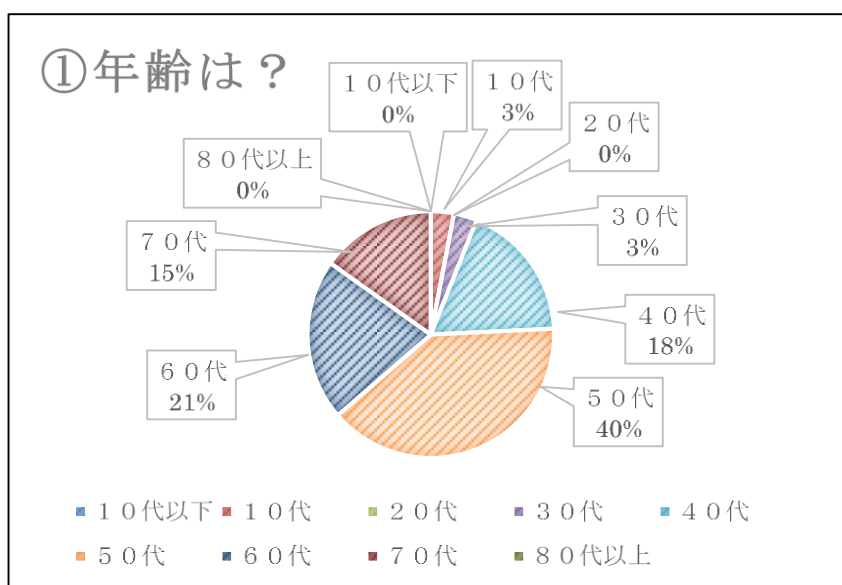
参加者 75名

回答数 33名

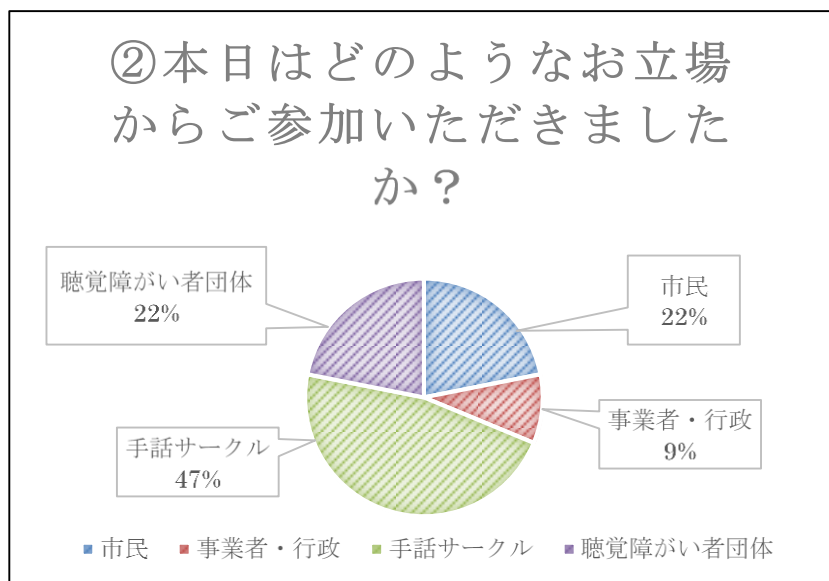
内訳：三木市	33名	小野市	1名
神戸市	21名	明石市	1名
加東市	2名	高砂市	1名
加西市	1名	太子町	2名
加古川市	3名	播磨町	1名
姫路市	4名	稲美町	1名
相生市	2名	行政	1名
		議員	1名

①年齢は？

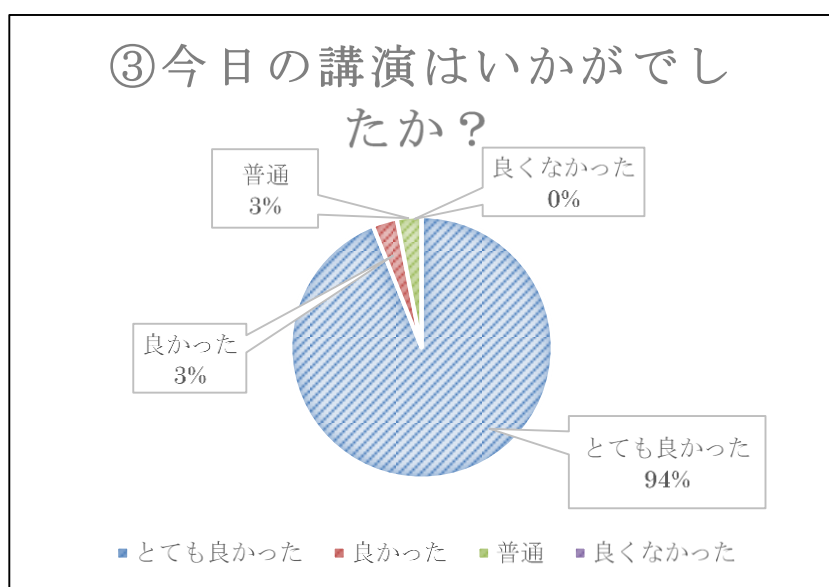
10代以下【0名】	10代【1名】	20代【0名】
30代【1名】	40代【6名】	50代【13名】
60代【7名】	70代【5名】	80代以上【0名】



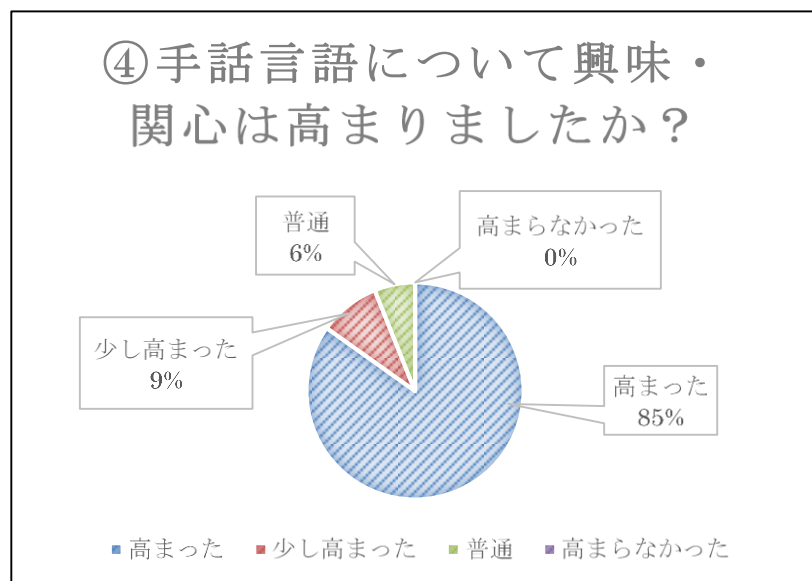
- ②本日はどのようなお立場からご参加いただきましたか？
 市民【7名】 事業者・行政【3名】 手話サークル【15名】
 聴覚障がい者団体【7名】



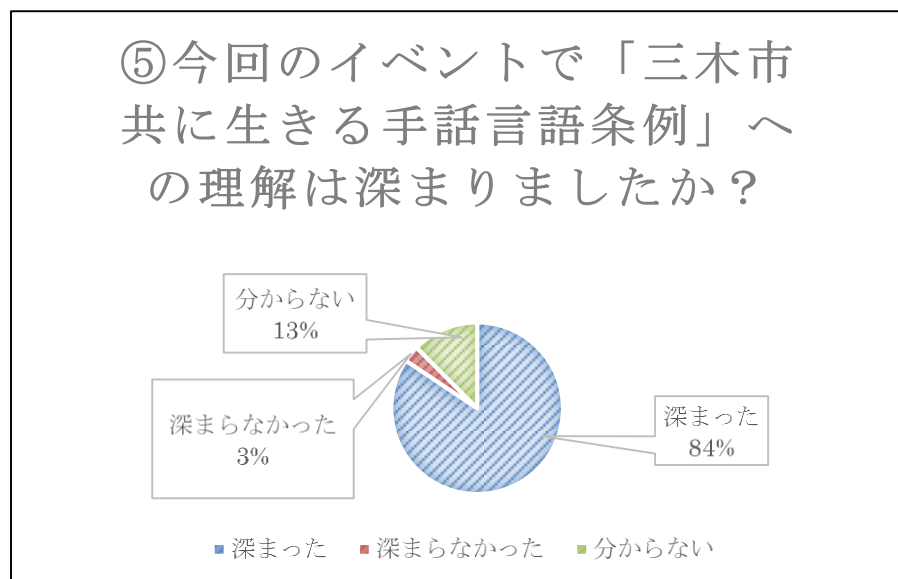
- ③今日の講演はいかがでしたか？
 とても良かった【31名】 良かった【1名】 普通【1名】
 良くなかった【0名】



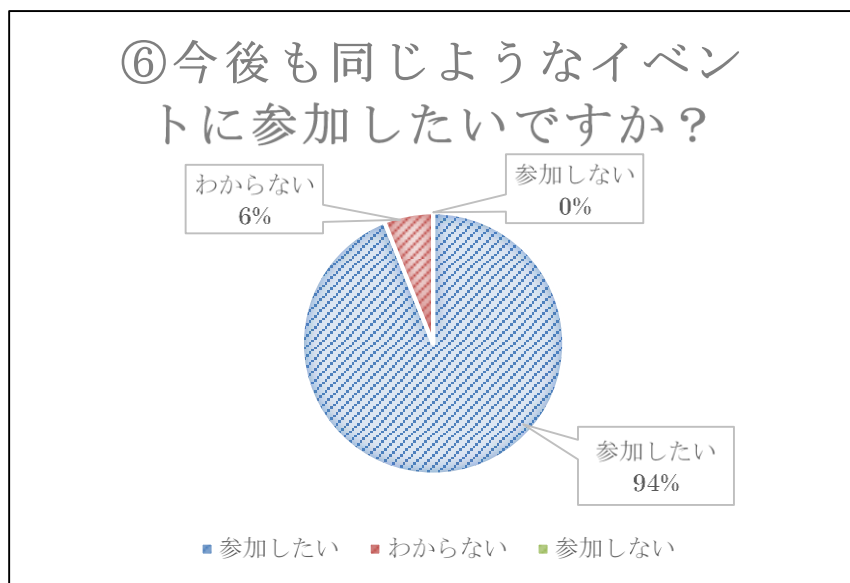
- ④手話言語について興味・関心は高まりましたか？
高まった【28名】 少し高まった【3名】 普通【2名】
高まらなかった【0名】



- ⑤今回のイベントで「三木市共に生きる手話言語条例」への理解は深まりましたか？
深まった【27名】 深まらなかった【1名】
分からない【4名】



- ⑥ 今後も同じようなイベントに参加したいですか？
参加したい【31名】 わからない【2名】 参加しない【0名】



- ⑦ ご感想・ご意見・ご要望ございましたらお聞かせください
※こんな事やって欲しい。など

- ・市外から来ているので地元のろう者と関われる機会があってうれしいです。
- ・とても分かりやすく、おもしろかったです。
- ・楽しい講演でした。
- ・イベント主催、ありがとうございました。これからもこのようなイベントを期待しています。
- ・聴者とろう者の言葉を感じたり受け止める時の違い、はっきりと分かるような手話や意味が通じるように手話を使うことが大事と分かった（今、手話を習い始めている）
- ・前川和美さんのお話は、ろう者と聴者のことを分かりやすく伝えてくださり大変良かったです。親切心でしたことがろう者の人格を傷つけることを知りました。明るく、パワフルで元気をいただきました。
- ・「察する文化」と「言語化する文化」という、手話は一つの言語だという認識を持てたこと、とても勉強になりました。
- ・とても分かりやすく、勉強になりました。
- ・午前部に参加できなくてとても残念でした。前川先生のご講演、とても良かったです。

⑤ブルーライトアップにて啓発

9月23日は手話言語の国際デー。
令和7年度は、『「世界そして日本を青色に！—
手話言語をブルーライトで輝かせよう—」市民・
地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト
2025』としてブルーライトアップ啓発イベント
を開催。

・9月16日（火）～26日（金）まで市内放送に
て呼びかけ、9月の広報に掲載しPRを行った。

日時：令和7年9月22日(月)～30日(火)

場所：①三木市役所 正面玄関前オブジェ

②(株)岡田金属工業所 正面玄関前時計台

③島田医院

④こじま耳鼻咽喉科

①



②



③



④



⑥絵本の読みかたり『手話でみんなのおはなし会』 開催

<令和7年度の実施状況>

- ・絵本の読みかたりを年3回行う
(5月・9月・2月)

実施詳細

- ・令和7年5月11日(日)
「ながーくなった」
「どうぶつ たいじゅうそくてい」
「三びきのやぎのからがらどん」
- ・令和7年9月7日(日)
「あかずきんちゃん」
「フルーツパフェを
ちゅうもんしました」
「パンどろぼう」
「ぞうのボタン」
- ・令和8年2月8日(日)
3冊 詳細未定

絵本の読みかたりの様子



⑦市民向け手話啓発講座の実施

＜令和 7 年度の実施状況＞

・今年度は、令和 8 年度の手話奉仕員養成講座の曜日に合わせて、3 月の土曜日午後に開催予定。

年 度	手話啓発講座の参加者/ 次年度の奉仕員参加人数
平成30年度	7 人／1 人
令和 1 年度	13 人／1 人
令和 2 年度	コロナ禍の為中止
令和 3 年度	14 人／1 人
令和 4 年度	15 人／1 人
令和 5 年度	15 人／11 人
令和 6 年度	7 人／4 人

(2) 市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策

(手話条例第3条第1項第2号)

ア 市の行事等に積極的に手話通訳者等を派遣する

⑧市が主催する行事等に手話通訳者等を派遣

<令和7年度の実施状況>

・市の行事等に主催者（所管課）より手話通訳派遣の依頼あり。

18件 のべ派遣人数42人（9月末現在）

イ 市役所等で、手話が使いやすい環境づくりを進めるため、市職員に対する手話に関する講習会を実施する

⑨消防署員向け手話研修会を実施

<令和7年度の実施状況>

- ・ 4回実施 8月25日（月） 広野分署 6名
 8月26日（火） 吉川分署 16名
 8月29日（金） 消防本部 13名
 10月15日（水） 消防本部 実施予定
- ・ 今年度は各部署から、聞いてみたい事例を出していただき、それに基づき研修を進める。交通事故や火災時の対応、音声認識アプリについてなど初めての事例があった。
- ・ NET119や搬送の時に使用される言葉を手話で覚え、ろう講師とシュミレーションしてもらう。
- ・ 何年も続けて参加している署員もあり、搬送時救急車の中で筆談ができるようホワイトボードを設置し対応するなど、聴覚障がい者に対する理解も深まっている。

※研修の様子



⑩市職員向けに手話啓発講座等を実施する

<令和7年度の実施状況>

- ・入庁2年目の職員また興味がある職員対象に手話研修会を実施する。
- ・11月に実施予定。

⑪市職員の手話検定取得を目指す

<令和7年度の実施状況>

- ・名称「放課後しゅわる」

手話検定5級取得を目指す事が目標だが、その前にまずは、楽しく手話を覚えてもらい、聴覚障がい者への理解・対応方法などを学んでもらう事を目標にした。申込者は19名。

5月～就業後隔週木曜日 計10回実施。

10月11日に検定試験開催 受験者 確認中

※講座の様子



全国手話検定試験とは？

- ・ 2006（平成18）年から始まる。
社会福祉法人全国手話研修センターが行っている。

- ・ 試験の目的

手話が出来る人が一人でも増えることを願って、ろう者が安心して暮らせる社会、ろう者が生活のいろいろな場面で、手話でコミュニケーションができる社会（情報バリアフリーの社会）をつくることをめざしている。

手話検定5級

挨拶や自己紹介を話題に会話ができる

手話検定4級

家族との身近な生活や体験を話題に会話ができる

手話検定3級

日常生活の体験や身近な社会生活の経験を話題に会話ができる

2級・準1級・1級となる

- ウ 小学校・中学校・特別支援学校において、子供たちが手話と親しみ、学ぶ活動の実施及び教職員に対する手話に関する研修の機会を提供する

⑫小学校・中学校・特別支援学校の児童及び生徒に対し手話学習を実施

<令和7年度の実施状況>

(1) 5/21	口吉川小学校	4年生	12名
(2) 7/14	自由が丘東小学校	4年生	46名
(3) 9/8	緑が丘東小学校	4年生	66名
(4) 9/26	別所小学校	4年生	37名
(5) 10/6	平田小学校	4年生	53名予定
(6) 10/24	広野小学校	4年生	45名予定
(7) 11/11	三樹小学校	4年生	50名予定
(8) 12/4	自由が丘中学校	1年生	86名予定
(9) 12/12	緑が丘小学校	4年生	47名予定

小学校 8校 中学校 1校 計9か所 442名
(9/30現在。数字は実施予定を含む)

⑬小学校・中学校・特別支援学校の教職員に対し研修会を実施

＜令和7年度の実施状況＞

- ・ 年度初めに校園長会にて案内を行った。
- ・ 7月25日（金）実施
- ・ 教職員 5名参加

エ 市内の事業所等において、手話に関する理解が深まるよう、チラシの配布や事業所などが行う手話講習会の開催を推進し、支援する

⑭事業所に対し手話啓発講座実施

＜令和7年度の実施状況＞

- ・ 11/15（土）ワークショップ絆 実施予定

(3) 手話通訳者の配置の拡充及び処遇改善など手話による意思疎通支援者のための施策
(手話条例第3条第1項第3号)

ア 手話通訳者及び要約筆記者等を育成する

⑮設置手話通訳者等の配置

＜令和7年度の状況＞

・設置手話通訳者

会計年度任用職員1名（常勤）

会計年度任用職員3名（交代）

※手話通訳士（2名）・手話通訳者（2名）

常時（月～金）2名配置

8：30～17：00

設置手話通訳者対応数

R3年度 303件 R4年度 326件 R5年度 232件

R6年度 283件 R7年度 113件 （9月末現在）

・設置要約筆記者

会計年度任用職員2名（交代）

（月・木・金）1名配置

8：30～17：00

設置要約筆記者対応件数 R5年度 69件 R6年度 68件
R7年度 44件 （9月末）

〈設置対応内容〉

- ・窓口対応
- ・来庁者への情報提供
- ・他課への同行通訳
- ・訪問同行通訳 など

⑯登録手話通訳者・要約筆記者の登録数を増やす

＜令和7年度の状況＞(9月末現在)

- | | |
|----------|------|
| ・登録手話通訳者 | 15名 |
| 通訳件数 | 160件 |
| ・登録要約筆記者 | 14名 |
| 通訳件数 | 61件 |

⑰手話奉仕員養成講座の開催

＜令和7年度の実施状況＞

- ・5月～3月末 毎週木曜日
10:00～12:00 計40回 開催
- ・受講者 10名 開講中

⑱手話奉仕員養成講座の講師養成

＜令和7年度の実施状況＞

- ・兵庫県聴覚障害者協会主催の講師養成講座開催予定。
- ・講師養成講座修了者 6名

⑱手話通訳者養成講座の開催

<令和7年度の実施状況>

○北播磨手話通訳者養成講座

- ・通訳Ⅰ 3名
- ・通訳Ⅲ+ブラッシュアップ講座 4名（内2名通訳Ⅲ修了）

令和7・8年度 三木市にて開催。

手話通訳者全国統一試験合格者(兵庫県)

2021年

合格者 1人/1人
全国合格率 20.43%

2022年

合格者0人/1人
全国合格率 18%

2023年

合格者0人/2人
全国合格率 11.93%

2024年

合格者0人/2人
全国合格率 5.5%

※毎年12月第1土曜日に全国統一試験開催

手話通訳者合格への道

手話奉仕員養成講座（入門・基礎 計40回）

入門：手話で自己紹介ができ、簡単な会話ができることを目指します。

基礎：手話の基礎文法の学習に入ります。ろう者と日常会話ができることを目指します。



ステップアップ講座

手話奉仕員として活動している方で、手話通訳者をめざすきっかけづくりのための講座です。



手話通訳者養成講座

通訳Ⅰ（32講座＋4講義）

日常生活での手話通訳が可能なレベルを目指します。

通訳Ⅱ（30講座＋4講義）

一般の難しい内容を含んだ日常場面での手話通訳が可能なレベルを目指します。

通訳Ⅲ（10講座）

あらゆる聴覚障がい者を対象として手話通訳ができることを目指します



全国手話通訳統一試験対策講座（市として年5回開催）



全国手話通訳統一試験（毎年12月第一土曜日）

手話通訳養成講座受講済みが条件



合格後、市に通訳者として登録

手話通訳士試験（毎年 筆記試験1回 実技試験1回）

※参考資料

手話通訳者全国統一試験 合格者概況									
試験		全国			兵庫県				三木市 合格者
		受験者数	合格者数	合格率 (%)		受験者数	合格者数	合格率 (%)	
平成19年	2007			17.00	第1回			23.00	3
平成20年	2008			28.40	第2回			32.70	1
平成21年	2009			11.80	第3回			20.60	0
平成22年	2010	1,584	428	27.00	第4回	109	20	18.30	0
平成23年	2011	1,507	486	32.20	第5回	105	28	26.70	3
平成24年	2012	1,471	242	16.50	第6回	93	8	8.60	0
平成25年	2013	1,554	277	17.82	第7回	108	19	17.60	0
平成26年	2014	1,504	177	11.77	第8回	93	9	9.68	0
平成27年	2015	1,618	292	18.05	第9回	114	16	14.04	1
平成28年	2016	1,713	247	14.42	第10回	151	15	9.93	0
平成29年	2017	1,800	232	12.89	第11回	132	19	14.39	0
平成30年	2018	1,762	316	17.93	第12回	120	26	21.67	0
令和元年	2019			20.04	第13回	127	24	19.00	1
令和2年	2020	1,348	266	19.73	第14回	90	16	17.73	0
令和3年	2021	1,444	295	20.43	第15回	88	16	18.80	1
令和4年	2022	1,535	281	18.31	第16回	92	17	18.48	0
令和5年	2023	1,690	256	15.15	第17回	109	13	11.93	0
令和6年	2024	1,852	333	17.98	第18回	115	7	6.09	0
平均				18.75				17.18	

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格者概況					
試験			受験者数	合格者数	合格率(%)
第1回	平成1年	1989	1,082	197	18.2
第2回	平成2年	1990	640	124	19.4
第3回	平成3年	1991	541	111	20.5
第4回	平成4年	1992	411	81	19.7
第5回	平成5年	1993	378	93	24.6
第6回	平成6年	1994	430	70	16.3
第7回	平成7年	1995	510	74	14.5
第8回	平成8年	1996	606	57	9.4
第9回	平成9年	1997	619	86	13.9
第10回	平成10年	1998	726	71	9.8
第11回	平成11年	1999	893	50	5.6
第12回	平成12年	2000	1,018	63	6.2
第13回	平成13年	2001	910	40	4.4
第14回	平成14年	2002	1,008	98	9.7
第15回	平成15年	2003	1,124	117	10.4
第16回	平成16年	2004	1,109	113	10.2
第17回	平成17年	2005	1,011	116	11.5
第18回	平成18年	2006	1,034	228	22.1
第19回	平成19年	2007	961	246	25.6
第20回	平成20年	2008	897	297	33.1
第21回	平成21年	2009	932	311	33.4
第22回	平成22年	2010	863	184	21.3
第23回	平成23年	2011	920	182	19.8
第24回	平成24年	2012	948	105	11.1
第25回	平成25年	2013	929	190	20.5
第26回	平成26年	2014	956	106	11.1
第27回	平成27年	2015	1,076	23	2.1
第28回	平成28年	2016	1,085	119	11.2
第29回	平成29年	2017	1,037	85	8.2
第30回	平成30年	2018	1,105	108	9.8
第31回	令和1年	2019	1,100	121	11.0
	令和2年	2020			
第32回	令和3年	2021	1,071	103	9.6
第33回	令和4年	2022	1,097	146	13.3
第34回	令和5年	2023	1,041	127	12.2
第35回	令和6年	2024	1,076	59	5.5
平均					14.43

②⑩要約筆記者養成講座の開催

＜令和7年度の実施状況＞

・北播磨パソコン要約筆記者養成講座（北播磨5市1町共催）を三木市にて開講予定だったが、申込者が少なく、開講せず。

養成講座の申し込みが少なく開催できない状況が続いているため、北播磨5市1町で相談し、代替講座として「聞こえにくい人」への支援って何？（啓発講座）と、パソコン要約筆記啓発講座を企画。

・「聞こえにくい人」への支援って何？（啓発講座）

2会場×2時間×1回

西脇会場 申込者が少なかったため成立せず

小野会場 5名（三木市在住 4名）

・パソコン要約筆記啓発講座

2会場×2時間×2回

西脇会場 申込者が少なかったため成立せず

小野会場 R8年1月26日（月）、2月2日（月）
開催予定

②登録手話通訳者の知識・技術の向上

<令和7年度の実施状況>

○三木市登録手話通訳者現任研修

☆R7年5月25日（日）『守秘義務と連携』

兵庫県難聴者福祉協会 野津 和子氏

（手話通訳者・要約筆記者合同研修会）

参加者 手話 11名 要約 5名

☆R7年6月21日（土）『聞き取り表現①』

関西学院大学 手話言語研究センター 前川 和美氏

参加者 9名

☆R7年9月6日（土）『聞き取り表現②』

関西学院大学 手話言語研究センター 前川 和美氏

参加者 9名

☆R7年10月5日（日）

『読み取り表現』

関西学院大学 手話言語研究センター 下谷奈津子氏

11名参加予定

○北播磨登録手話通訳者現任研修

☆6月19日（木）

『聞き取り通訳の実践』

星 百合香氏

三木市より参加者 4名

☆10月23日（木）

『読み取り通訳の実践』

星 百合香氏

三木市より4名参加予定

イ 手話の技術並びに聴覚障害に対する理解を広げるための指導者を育成する

②絵本の読みかたり実施者を支援・育成

＜令和7年度の実施状況＞

- ・絵本の読みかたりを年3回実施。
（5月・9月・2月）
- ・中央図書館2階絵本コーナーにて開催。
- ・研修会を2月に2回実施予定。

③啓発講座等の指導者養成講座

＜令和7年度の実施状況＞

- ・啓発講座講師養成講座
6月15日（日）実施
ろう講師 1名 補助講師 9名 登録

④啓発講座等の指導者研修

＜令和7年度の実施状況＞

現任研修

- ・6月22日（日）参加者 19人
講義『啓発講師の心構え』 村上 里美氏
意見交換会
- ・R8年3月 開催予定

(4) その他

㊤手話で本を楽しむ

- ・ 中央図書館にて毎月第3木曜日
13:30～15:30
手話通訳者2名（派遣）にて対応
手話にて様々な本を楽しんでもらう
（令和2年度～開始・図書館主催）

㊤遠隔手話通訳サービス（令和2年9月30日～）

- ・ 遠隔通訳サービスとは
コロナ禍により、手話通訳の派遣が困難になった際に、ビデオ通話を利用して遠隔での通訳ができるよう、自治体や聞こえない方の要望に応じて開発されたシステム。災害時や感染症拡大時以外にも、離島や遠方など派遣が困難な時にも地域の手話通訳者が対応できる。

- ・ 令和6年度 利用者なし
- ・ 令和7年度 利用者なし
(9月末現在)



②⑦NET119登録説明会

NET119とは

・令和3年4月1日運用開始

聴覚や発語に障がいのある方が、自宅や外出先から素早く119番通報ができ、携帯電話やスマートフォンなどのGPS機能を用いて居場所を特定でき、すぐに駆けつけることができる。

日 時：令和7年2月16日（日）
10：00～12：00

場 所：三木市消防本部

参加者：10名



②⑧「市政一直線」の動画を手話と字幕で放送

毎月1回FMみっきい(ラジオ)で市長の思いを放送。聞こえない方にも市政情報を届けるため、手話と字幕を付けた動画を作成し、市民課前・みっきいホール前・YouTubeで配信。



②9 デフリンピックキャラバンイベント開催

令和7年11月に東京で開催される「東京2025デフリンピック」に向けた機運醸成の一環として、デフリンピックへの関心と理解を高める貴重な機会としてキャラバンイベントを北播磨地域(5市1町)で開催した。

日時：令和7年9月21日(日)
10:30～13:00

場所：加東市役所前



○デフリンピックとは

デフ(Deaf)＝英語で「耳が聞こえない」という意味。

デフリンピックは、国際的な「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピックである」

デフリンピックは、1924年に、パリで初めて開催された。

東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会で日本では初めての開催となる。

開催都市の東京を目指して、北と南から2台のキャラバンカーが、全国を駆け抜ける。

東京2025デフリンピックでは21種目行われる。

